

活動スローガン

「宮木公民館活動」を、
“みんなで 明るく、楽しく、元気よく”

館 報

みやき

発 行 宮 木 公 民 館 区
編 集 宮 木 公 民 館 文 化 部
印 刷 辰 野 プ リ ン ト

一年を顧みて



宮木区長
佐藤 高彦

微力ながら宮木区長をお受けして、戸惑いながらも先輩方が築いて下さった路線を計画してスタートしたわけですが、コロナウイルス感染が3年目を迎えましたが、なんとか縮小してでもと思って、行事を計画しましたが第7波のピーク、後半には第8波と終息のめどが立たない時期と重なり、それぞれの行事が直前で苦渋の選択で取りやめになりました。町総代の皆さん、各団体の皆さん又協力していただいた業者の方々にも大変申し訳なく思っています。

本年度は7年に1度の宮木諏訪神社の式年御柱大祭の開催と同時期にスタートしました。御柱実行委員の総務の皆さんの1年がかりの献身的な準備で開催することが出来ましたが、ここにもコロナウイルス感染症との戦いがありました。

御柱祭初めての試みで重機移動にて曳航することになりました。御柱委員の皆さんと区民の皆さんで感染対策をしながらのご協力で宮木諏訪神社境内へ曳きつけることが出来、立派な御柱が建立され安堵しました。

楡沢の堰堤工事も近直完成します、令和3年の大雨では2000立米以上の土砂を堰き止めることが出来ました。もし堰堤が無かったとしたらと考えるとぞっとします。多大な貢献をしたと思います。まだまだ危険箇所があります、梨洞・滝洞等々防災対策が必要不可欠です、更なる地域住民のご協力が必要です。

泉水・仲町・南湯舟の側溝舗装の改修が進み生活環境が改善されました。国道153号線の旧病院前に大型情報電光掲示板が設置されました、渋滞解消に期待できます。

子ども議会の提案で城前線に時計が設置されました。

大幹線町道8号線の歩道改修も設計に着手して令和5年度に着工予定、コロナウイルス感染症対策についても区内公民館の要望にも応えられるように進めております。等々町当局の積極的なご協力に感謝しています。

宮木区も高齢化が進んでおます、それぞれの町内で高齢者の社会性を保ち積極的に参加できる体制を構築していただきたいと思います。

最後に大きな災害もなく事故もなく過ごすことが出来たことに対し、渡辺副区長、宮原会計、区職員の皆さんに支えられ、又常任委員、区議会議員の皆さん、諸団体の皆さんのご協力、特に町総代の皆さんには深いご理解とご尽力を頂いたことに感謝申し上げます。

区民の皆さんの力強さを感じる1年でした、皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げ、1年のまとめと致します。

公民館活動を顧みて



宮木公民館分館長
宮島 博明

早いもので令和4年もあとわずかとなりました。この1年もコロナの終息には程遠く、公民館行事の多くが制約を受けてしまいました。

その中で7月の「宮木ふるさと歴史探訪」は34名の参加で実施。今年は宮木堰の歴史経過などの説明を聞きながら河川敷を歩き、又区内の河川敷の段差などの説明を受け、新たな発見もあり有意義な見学となりました。

10月の辰野町公民館主催の「辰野町荒神山駅伝大会」には、公民館として参加選手の取り纏めをし、2チームを結成することができ、宮木チームとして素晴らしい結果で大会を終えることが出来ました。改めて参加選手の皆様に変感謝申し上げます。

12月には恒例の「注連飾り講習会」に70名近く御参加頂き開催することができました。皆さん悪戦苦闘しながらも楽しく暮れの飾りつけを思いながら立派に作り上げていました。

公民館行事も限られた行事しかできませんでしたが、就任当初から自分の中で「公民館活動はいかにあるべきか」「区民の皆さんとコミュニケーションをいかに作っていけばよいのか」「区民の皆さんが楽しく公民館活動に参加できるように」など自問自答の1年でした。至らない自分ではありましたが、区民の皆さんや公民館委員のご理解とご協力があったからこそと思います。ここに感謝申し上げ退任の言葉とさせていただきます。

宮木楡沢チーム優勝 手一ム宮木4連覇!

1区



2区



3区



4区



5区



辰野町駅伝大会

10月16日(日)

体育部長 今村 芳雄

辰野町駅伝大会が10月16日荒神山一帯で、素晴らしい秋晴れの中で開催されました。

63回(2019年)続いた町内一周駅伝はコロナ禍で2年開催できず、今回場所を変更して行われました。

過去、3年連続優勝であり、今回4連覇の目標に向かって選手、役員が一致団結し頑張りました。結果は、楡沢チームが見事4連覇を果たし、月丘10位と全員が持てる力を出し切りました。

3年ぶりの駅伝開催優勝に楡沢チーム主将「優勝もうれしいけれど、3年ぶりに仲間と走れた事が何より」コロナ禍で練習量が少ないなか、仲間と確かめ合いながら走る姿が特に印象的でした。

次回駅伝大会は、どんな形で開催するかはわかりませんが、5連覇、更には無敗に向かって絆と団結力で挑めたらと思います。

最後になりますが、選手の皆様、公民館関係者、沿道にて心強い声援を送っていただきました区民の皆様におかれましては、深く感謝申し上げます。

駅伝選手

宮木楡沢

1区 垣内 悠希
2区 西沢 倫彦
3区 宮田 祐輔
4区 矢崎 貴之
5区 小又 啓史

宮木月丘

小又彩永子
国吉 健一
井上 武明
小林 一三
根橋 孝行

補欠

小平紗矢香
吉沢 昌男
国吉 信弘

区間賞

1区 宮田 祐輔
2区 西沢 倫彦

総合順位

1位	宮木楡沢	0:36:54	7位	平出 (虹)	0:45:29
2位	辰野中学 社会体育チーム	0:37:28	8位	510X FAMILY	0:45:48
3位	ON	0:41:36	9位	TYP	0:46:31
4位	小野チーム	0:42:11	10位	宮木月丘	0:47:49
5位	TEAM オ一城山	0:42:55	11位	辰野中学校 陸上部B	0:55:11
6位	辰野中学校 陸上部A	0:44:57	12位	情熱家族	0:55:58



しめ飾り講習会

12月11日(日)

文化部長 西澤 真

毎年恒例の『しめ飾り講習会』を12月11日(日)に公民館大広間で開催しました。

講師である小松千明先生(元町)の指導の元、昨年に比べより多くの参加者がお集まりいただきとても嬉しく思いました。

途中には換気をし、密を避けるなどコロナ対策に配慮しながら行いました。

親子連れの参加者も多く、悪戦苦闘しながらもワラで縄を編み、飾りを着け立派なしめ飾りを作りあげていた姿に、見ているこちらもとても喜ばしく感じました。

『禍福は糾える縄の如し』という成句のように、幸不幸が縄をより合わせたように表裏をなすこと、禍いの後には福が来ることに因み、長引くコロナ禍のあとにはきっと沢山の楽しい事が待っているのではないかと思います。そして笑顔が溢れる良い1年になればと、参加者の皆さまが編み上げた立派なしめ飾りを前にして思いました。

稲ワラを提供して下さった方、ご協力いただいた皆さま、本当に有り難うございました。



令和4年度 同好会この1年

★宮木写真同好会 代表 武井 健 治

この1年も新型コロナの影響で活動自粛の継続を余儀なくされました。その中で1年ぶりの秋の撮影旅行（西駒千畳敷、宮田アサギマダラの里）と作品展示会（宮木郵便局、辰野病院及びJA辰野支所）を開催することで、会員の親睦と撮影技術の向上に努めることができました。

令和5年もコロナ感染状況を見極めながらも撮影会や展示会を通じて皆さんに感動をお伝えできればと会員一同張り切っております。



★ヨーガ同好会 代表 宮 原 八重子

今年度は4月にコロナの感染警戒レベルが5のため、活動を中止。6月より活動再開。毎週水曜日13:30～14:30頃まで公民館の大広間にて、コロナ感染対策をとりながら安全に心がけ活動できました。冬期1～2月は休会しましたが、仲間と共に話をしながらの時間は楽しいものです。是非一度見学にお出かけください。お待ちしております。

★大正琴の会 代表 坂 本 茂 子

毎月第1・第3の火曜日に練習しています。今年もコロナの心配をしながら休会が多く、練習出来た回数は半分でした。

会員数は7名と少人数ですが、指先を使うのは脳の活性化につながるとい、情報交換もしながら楽しんでいます。

★区誌を読む会 代表 原 尚

今年度の学習内容は主に「学校教育」と「社会教育」についてであった。そのうち「学校教育」は明治5年に「学制」が頒布される以前と以後における宮木の学校の変遷と社会状況について学んだ。また「社会教育」では「青年会」の成り立ちや地域社会で果たした役割などを学習した。この「青年会」組織は後に「青年団」となるのであるが歴史は古い。「若者衆」といわれる青年達の自主・独立した集団から「青年会」が生まれているとされている。この「若者衆」の発生は鎌倉時代とも室町時代とも言われている。宮木では江戸末期にこの名が残っている。

★書道同好会 代表 岡 本 憲太郎

今年もコロナ安全策で文化祭は中止となり、滝川先生のもとで添削ご指導の学習会も何回か中止で、これも感染予防から正解でした。

いつか以前のように普通の行動ができると思っております。毎年1月は局に展示させていただいております。会員は4名で、月2回第1・第3月曜日学習会で楽しんでいます。一生懸命の書です。ご覧下されば幸いです。

★健康マージャン同好会 代表 関 根 和 男

この1年を振り返ってみると、コロナの影響で2ヶ月遅れで6月よりスタートする事になりました。感染予防に注意しながら、月2回実施する事が出来、途中で大会も開催出来ました。20数名での集まりですが、残りの期間も楽しく全員で盛りあがって行きたいと思っております。

★喜楽倶楽部 代表 長 島 功

早いもので、昨年活動報告をと館長さんから言われ、世の中の流れに流されるまま1年が過ぎてしまいました。活動らしい活動も出来ず、ただ、ただ「ガマン」の1年でした。それでも、毎週土曜日にオーリアッドではギターを持ち歌い、来る歌声再開に備えています。

コロナ、戦争、円安、増税と四重苦の中に光を探すのは決して諦めない。前を見て歩み続けることではないでしょうか？平和を求めて、私達は歌います。土曜日オーリアッドで会いましょう。

★ゴルフ同好会 代表 川 上 明

コロナ禍ではありましたが、春、秋と2回開催出来ました事に感謝申し上げたいと思います。

春は、5月29日（日）に諏訪レイクヒルCCで開催しました。参加人数36名。

秋は10月20日（木）に諏訪レイクヒルCCで参加人数32名。

両日共懇親会は行わず、表彰のみ、ワンドリンクとケーキ等でゴルフ場の食堂で行いました。

★宮木公友会

代表 大坪 智

昨年は御柱祭が行われ、大祭に花を添えるべく参加させて頂きました。当初は人員の確保等含めて、制限のある中、難しい判断をしなければならず、苦慮いたしました。今となれば、参加して本当に良かったと改めて思う次第です。

久しぶりに熱のある練習、人と人との繋がり、大祭当日は、暗い事を吹き飛ばす、熱気ある御柱祭でした。

未だ制限のある中ではありますが、今後も活動が滞らないよう模索しながら活動していきます。本年もよろしくお願い致します。



★ジョギング研究会&球技同好会ルッチョラ

代表 井上 武明

22年令和4年8月の夕刻雨上がりに、旧辰野町内一周駅伝大会の最終10区の最高地点からゴール町役場の方向にダブルレインボーが架かりました。きっとあの駅伝を走ったランナーの皆さんのマインドを載せたタスキが虹の彼方へと向かっていき新しい駅伝へと繋がっていったのでしょう。

ジョギング研究会の今年度は、近隣市町村のランニングイベントも開催されはじめ、3月の春ランに始まり八ヶ岳クロスカントリーお盆駅伝、辰野町駅伝、諏訪湖マラソン等への参加ができました。ルッチョラは、松本スカイパークに常設の3×3コートで地元のチームと交流試合を楽しみました。ランニングも球技も心技体を研究し来年度も活動していきます。メンバー募集中！



★そば打ち同好会

代表 赤羽 龍司

今期のソバ打ち同好会の活動は、自粛を強いられました。夏以降、これから同好会が開催できるといったところでオミクロン流行、中止に。この中でも各個では新ソバや年越しソバ打ちを行ってきました。来期こそソバ打ち同好会が開催出来ることと念じています。

1年間をふり返って

令和4年	5月 1日(日)	公民館報151号発行
	4月23日~25日	宮木諏訪神社御柱祭参加
	5月 5日(木)	子ども御柱祭参加
	6月 5日(日)	宮木区民球技大会 中止
	12日(日)	ぼたる祭り町民総踊り 中止
	7月10日(日)	ふるさと歴史探訪 開催
	8月14日(日)	宮木ふるさと夏祭り参加 中止
	10月 1日(土)	公民館報152号発行
	10月 9日(日)	宮木諏訪神社例大祭 不参加
	10月16日(日)	辰野町駅伝大会 参加
	10月23日(日)	宮木区文化祭 中止
	11月13日(日)	宮木区民芸能祭 中止
	12月11日(日)	しめ飾り講習会 公民館大広間にて開催
令和5年	3月 1日(水)	公民館報153号発行予定

宮木区ホームページ

<http://miyaki.sakura.ne.jp/>

区内の行事予定や公民館の行事、館報のバックナンバー等も掲載しています。
QRコードからも是非！



編 集 後 記

この1年は昨年に比べ、幾つかの行事の再開が叶いました。長引くコロナ禍の中、行事のあり方や、方法を工夫し模索しながら皆さまと共に開催できたことがとても嬉しく思います。

コロナ禍という息苦しいこのご時世でも、公民館行事を通じて区民の皆さまの沢山の笑顔が見られたことが何よりのやり甲斐でした。なかなか収束の兆しは見えない中ではありますが、今後も区民の皆さまが安心して楽しく行事に参加できるよう公民館役員一同努めてまいります。1年間本当にありがとうございました。

宮木の人口

(令和5年2月1日現在)

人口 3,728人

男 1,797人

女 1,931人

世帯 1,510戸